



# スマイル通信

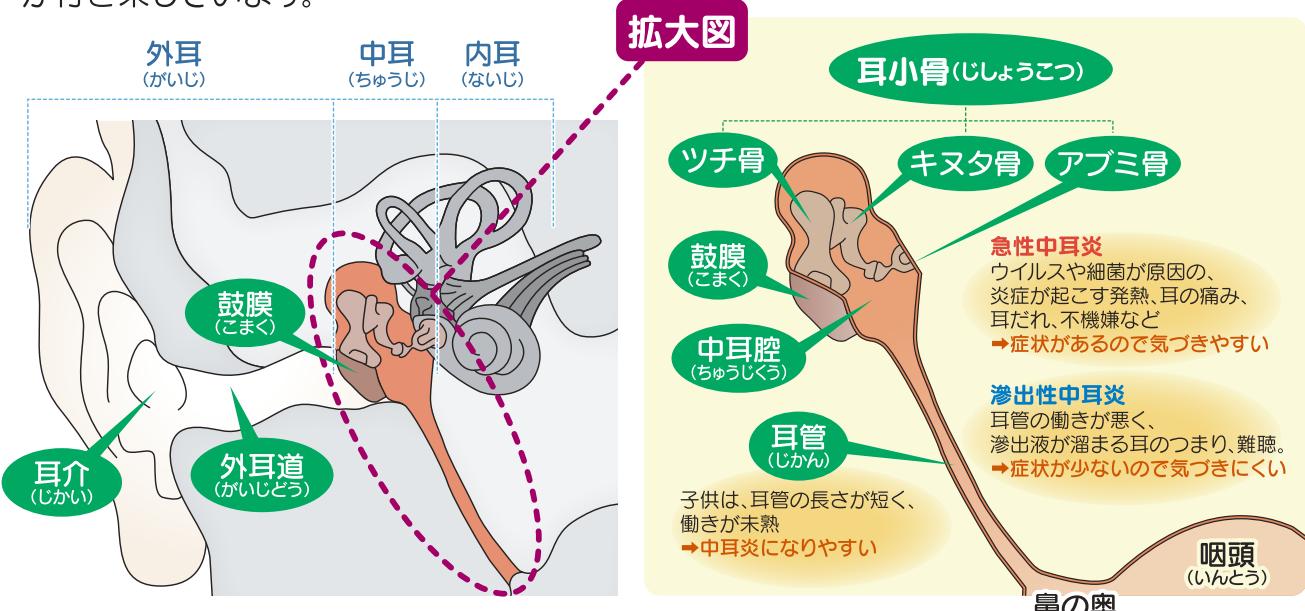
05.

2019年1月号

## 第5回目のスマイル通信です。今回は、子供に多い中耳炎について。

中耳炎は鼓膜の奥の空間、中耳腔(ちゅうじくう)で起きる炎症の事です。**急性中耳炎**、**滲出(しんしゅつ)性中耳炎**、慢性中耳炎、真珠腫(しんじゅしゅ)性中耳炎、癒着(ゆちゃく)性中耳炎などがあります。子供に多いのは、**急性中耳炎**、**滲出性中耳炎**です。

話はちょっとずれますが、中耳腔と鼻の奥は、耳管(じかん)という管を通じてつながっています(図)。高い場所で耳が詰まり、耳抜きするとスーッとするという経験は皆さんあると思います。この耳抜きの時に空気が通る場所が耳管です。中耳と鼻の奥は、耳管を通じて空気が行き来しています。



さて、子供に多い中耳炎ですが、

**急性中耳炎**は、かぜが原因であることが多い、鼻やのどに着いたウイルスや細菌が、先ほど説明した耳管を通して中耳腔に入り、炎症が起きます。発熱、耳が痛い、耳だれなどの症状があります。乳幼児の場合は、機嫌が悪い、耳を触るなどの症状もあります。

治療は痛みや熱を抑える薬と共に、細菌感染の場合は抗生素を飲みます。鼻やのどの炎症があると治りも遅くなるため、鼻やのどの治療も必要になります。治りが悪いと、鼓膜を切開して、中耳腔より膿を出す場合もあります。

**滲出性中耳炎**は、耳管の働きが悪くなり、滲出液がしみでて起きる中耳炎です。原因是、急性中耳炎が治りきらない、耳管の働きが、鼻の病気やのどの病気(特にアデノイド)などで悪くなっている、急激な気圧の変化に耳管の働きが対応できないなど、様々です。子供は、耳管の長さが短く、動きが未熟なため、大人より滲出性中耳炎になりやすいです。

症状は、耳が詰まったような難聴になります。痛み、発熱などの症状は乏しく、難聴や言葉の遅れなどで気づかれることがあります。

治療は、中耳の滲出液を柔らかくする薬を飲み、鼻やのどの病気に対する治療も行います。滲出性中耳炎は治るまで時間がかかり、再発することも多いので、根気よく治療することが必要です。2~3か月ほど治療を続けることもあります。さらに治りが悪い場合は、鼓膜を切開したり、チューブを留置したりして外科的に滲出液をだす事もあります。

繰り返しますが、子供の**急性中耳炎**は、症状があり、気づき易いですが、**滲出性中耳炎**は、症状が少なく、難聴、言葉の遅れで気づくことがあります。お子さんの耳で、おかしいなと思ったら、早めに耳鼻科に受診させてください。

## 2019年のスギ・ヒノキ花粉飛散予想は?

毎年2月、3月になると花粉症で悩む患者さんも多いと思います。年末・年始には、気象協会などで、スギ・ヒノキ花粉飛散予想が報道されます。この飛散予想は前年の夏、特に7月の日照時間、気温が影響します。昨年北部九州は平年より10日も早く梅雨が明け、暑い夏だったこと覚えていますか？従って、今年のスギ・ヒノキ花粉飛散は、**例年並みかやや多い**と(この原稿を書いている時点では)予想されています。

冬の天候にもよりますが、長崎県では毎年2月上旬にスギ花粉が飛散し始めます。飛散前からの対策が効果的です。早めの対策をお勧めします。

## お願い：当院指定の駐車場について

昨年11月より市営駐車場14番も当院指定駐車場になりました。当院指定駐車場は、当院横2台、吉田駐車場2、3、4、5、6、7、20、21番の8台、市営駐車場1、2、4、5、14番の5台の合計15台分です。当院の看板を立てています。他の場所に駐車しないように、ご協力お願いします。

### ● アクセス



### ● 駐車場マップ



〒857-0136 長崎県佐世保市田原町17-10

**TEL.0956-76-7379** FAX.0956-76-7363

たかさきクリニック <http://takasaki-clinic.org> HPはこちら→

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～午後12:30 受付は 午後12:15まで	○	○	○	○	○	○
午後2:30～午後6:00 受付は 午後5:45まで	○	○	/	○	○	/

《日曜・祝日 休診》



当日の順番予約と  
診察待合状況の  
確認はこちらから→

